

あおやぎ

No.301
2025年4月

～ 院内2階 あおやぎギャラリー ～



新年度あいさつ ②

健康指導シリーズ第10回

放射線と その影響について ③ ④ ⑤

医療メディエーター紹介 ⑥

「看護の日」のお知らせ ⑥

ロビーコンサートについて ⑥

入院時連帯保証人代行制度の導入 ⑦

らくらくスムーズ会計 ⑦

外来診療案内 ⑧

県立中央病院の理念と方向性

〈理念〉

県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療

- ・患者の権利と意思を尊重し、高度で良質、適正な患者中心の医療を提供します。
- ・医療従事者としての倫理綱領を守ります。
- ・最適ながん医療と生活習慣病対策を推進します。
- ・信頼される救急医療を提供します。
- ・地域医療、福祉との連携をします。
- ・将来を担う医療人の教育、育成を行います。
- ・公共性に配慮した健全な病院経営を目指します。



新年度あいさつ

就任 1 年のご挨拶

院長 鈴木 克典



平素より当院の医療活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。私が院長に就任してから早くも1年が経過しました。この1年間、多くの患者さん、地域の皆さん、そして職員の皆さんに支えられながら、日々の診療と病院運営に取り組んでまいりました。患者さんにとって安心・安全な医療を提供することを心がけてきました。皆様のご協力のもと、一步步前進できていることを実感しております。

当院の1年を振り返ってみたいと思います。新型コロナが感染症法上、「5類」に分類されて以降、コロナ感染流行の前の状態に戻りつつあります。7月には5年ぶりにロビーコンサートを行いました。患者さんの心を癒し、病院全体の雰囲気良くするという大きな意義を持っています。外来ホールに美しい歌声や演奏が流れました。患者さんが病棟から1階のホールに下りてきており笑顔が見られました。今後も継続していきたいと思えます。10月にはあおやぎ祭りが復活しました。あおやぎ祭りは、患者・家族・地域住民・医療従事者が交流し、病院をより身近に感じてもらうためのイベントです。病院はどんなことをしているのかを知ってもらうために、ドクターヘリの見学や外科医体験コーナーなど、医療・福祉・地域とのつながりを深める重要な機会となります。多くの皆さんにご参加いただけたことで、私たちも元気をいただきました。面会に関しては、制限はあるもののゆるくなっていますが、残念ながらコロナ前には戻っていません。入院患者及びスタッフへの感染症の拡大を防ぎ、県民の皆さんへ必要な医療を提供するための一助として、一般の方のお見舞いについては、禁止させていただいております。ご理解をお願いいたします。

今年は花笠まつりへの参加の復活を目指したいと考えています。病院職員が地域活動に参加することで、医療の枠を超えた社会貢献ができます。また、スタッフにとっても地域とのつながりを実感し、働きがいを高める機会になると思っています。

2024年の医療界では、4月に医師の時間外労働時間に上限を設ける働き方改革が本格的に施行されました。この改革は、医師の長時間労働を是正し、健康的な労働環境を整備することを目的としています。職員の心身の健康や生産性を高めることができます。6月には診療報酬の改定が行われました。物価や人件費の高騰に対して、医療機関の経営を支えるための措置が講じられましたが、病院経営は依然として厳しい状況が続いています。物価高騰は皆さんの生活にとっても打撃ですが、病院にとっても非常に大きな問題です。「マイナ保険証」が12月2日から完全に導入されました。医療の質向上として過去の診療・薬剤情報を医師との共有が可能となりました。

この1年間、地域医療に携わる中で、「医療とは何か」を問い続けてきました。「医療・科学・人間性」の調和です。医療は、地域の皆さんが安心して暮らせる基盤であり、病を癒し、健康を守るものです。科学は、医学の進歩を支え、より良い治療を実現する力です。そして、何よりも大切なのが人間性です。どれほど科学が発展しても、患者さん一人一人の思いに寄り添うことなくして、真の医療は成り立ちません。今後も、最新の医療を取り入れつつ、患者さんの心に寄り添う医療を実践してまいります。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

【略歴】

昭和37年	山形市生まれ	
昭和56年	山形東高等学校卒業	
昭和63年	山形大学医学部卒業 (第10期生)、消化器内科入局	
昭和63年	10月	最上町立病院勤務
平成元年	4月	米沢市立病院勤務
平成3年	10月	小国町立病院勤務
平成4年	10月	鶴岡市立荘内病院勤務
平成5年	10月	山形大学医学部第二内科医員
平成8年	4月	山形大学医学部 第二内科 助手 (文部教官)
平成8年	9月	山形県立中央病院 内科医長
平成19年	4月	同 地域医療部副部長
平成25年	4月	同 医療情報部長
平成31年	4月	同 副院長
令和6年	4月	同 院長

【資格】 専門医、指導医など

医師臨床研修指導医
日本消化器病学会専門医・指導医 (東北支部評議委員)
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 (東北支部評議委員)
日本肝臓学会専門医、指導医
日本消化器がん検診学会認定医 (東北支部評議委員)
日本内科学会認定医
日本超音波学会専門医・指導医

【備考】 その他の役職

山形県がん診療連携協議会がん相談支援部会長
がん診療連携拠点病院等の次期基本計画策定に向けてのWGメンバー
厚労省がん情報・研究班メンバー
山形県臨床研修指導医講習会タスクフォース
山形県がん教育推進協議会委員

健康指導シリーズ 第10回

放射線とその影響について

～放射線を正しく理解し、安心安全な放射線診療を受けましょう～

放射線部 診療放射線主査 荒木 隆博 放射線被ばく相談員

放射線は、私たちの生活に深く関わるエネルギーの一種であり、その理解は医療従事者のみならず、県民の皆様にとりましても重要です。本稿では、放射線の基本的な性質とその人体への影響について、分かりやすく解説いたします。

1. 放射線とは？

放射線は宇宙誕生のときから存在していました。1895年、ヴィルヘルム・レントゲン氏によってX（エックス）線が発見され、これが放射線の初めての発見とされています。

よく放射線や放射能という言葉が混同されることがありますが、それぞれの意味は異なります。「放射線」は広い意味では光の仲間であり、放射線を出す能力を「放射能」、その能力を持つ物質を「放射性物質」といいます。これを電球に例えると、「放射線」は電球の光、「放射能」は光を出す能力、そして電球そのものが「放射性物質」にあたります。（図1）

放射線は目に見えないエネルギーの一種で、波として伝わるもの（電磁波）と、粒子として飛び出すもの（粒子線）があります。主な粒子線には、 α （アルファ）線、 β （ベータ）線、そして中性子線などがあります。また、主な電磁波には、 γ （ガンマ）線やX線などがあります。それぞれ透過力や電離作用の強さが異なり、人体への影響も変わります。（図2）X線検査の際には、X線管で発生させるX線が利用されます。

図1：放射線・放射能・放射性物質とは

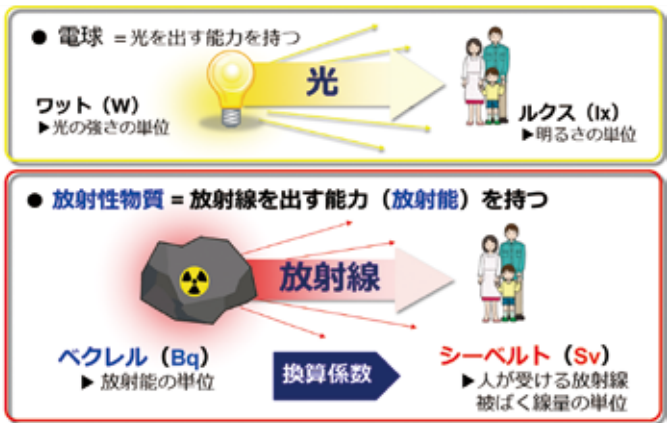
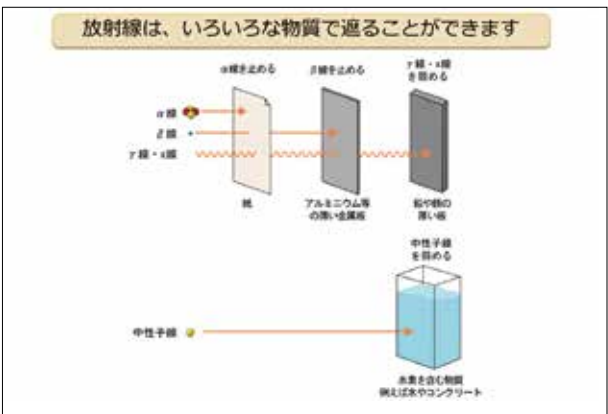


図2：放射線の透過力



引用：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成28年度版」

2. 私たちの身の回りの放射線

放射線は私たちの生活環境の中に自然に存在しています。これを自然放射線と呼び、宇宙からの放射線、大地や大気中の放射性物質、飲食物などから受ける放射線が含まれます。

自然放射線からの年間被ばく線量は世界平均で年間約2.4ミリシーベルト（mSv）とされています。日本における自然放射線からの年間被ばく線量は約2.1ミリシーベルトであり、内訳は以下の通りです。

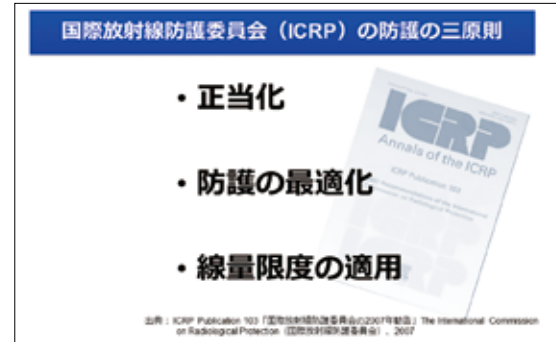
宇宙放射線：約0.30mSv 地表からの放射線：約0.33mSv
食物からの放射線：約0.99mSv 大気中のラドン：約0.48mSv

一方で、人間が作り出した放射線を人工放射線と呼び、原子力発電、工業利用、医療（X線検査やCTスキャン）などに利用されています。多くの医療機関において医療被ばくは適切に管理されており、早期診断や治療に貢献しています。過剰な被ばくを防ぐため、放射線防護の三原則（正当化・最適化・線量限度）が遵守されています。（図3・4）

図3：自然・人工放射線からの被ばく線量



図4：防護の三原則



引用：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 令和元年度版」

3. 放射線の人体への影響

放射線が人体に与える影響は、受けた線量とその種類によって異なります。高線量の被ばくでは細胞や組織に損傷を与え、急性放射線症候群やがんのリスクが増加する可能性があります。しかし、適切に管理された医療放射線のような低線量の放射線被ばくでは、直ちに健康影響が現れることは少ないとされています。人体には放射線によって損傷した細胞を修復する機能が備わっており、少量であれば修復が可能です。傷ついた遺伝子のほとんどが修復されたり、新しい細胞に入れ替わったりするため、放射線を受けても必ず影響が出るとは限りません。（図5）

放射線の影響は以下の2つに分類されます。（図6）

組織反応（確定的影響）：一定以上の放射線量を受けた際に現れる影響で、皮膚の紅斑や脱毛、不妊などが含まれます。しきい線量を超えた場合に発生しますが、一般的な医療被ばくの線量はしきい線量を超えません。しきい線量とは、同じ線量を多数の人が被ばくした時に、全体の1%の人に症状が現れる線量のことであり、しきい線量を超えたからと言って全ての人に影響が出るわけではありません。

確率的影響：被ばく線量に応じて発生確率が増加する影響で、がんや白血病・遺伝的影響などが該当します。確率的影響にはしきい線量がないとされ、低線量域でも線量に依存して影響があるものと仮定し、放射線防護の基準が定められています。ただし、200ミリシーベルト以下では、人のがんや遺伝的影響の発生確率の増加は確認されていません。

図5：人体影響の発生機構

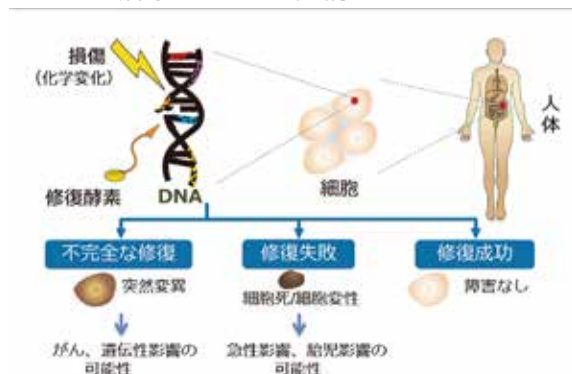
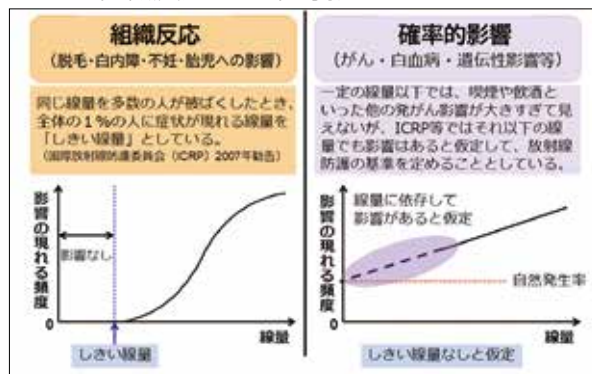


図6：組織反応と確率的影響



引用：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成30年度版」

4. 放射線と上手に付き合うために

放射線は、適切に利用すれば私たちの生活や医療に大きな恩恵をもたらします。しかし、その影響を正しく理解し、必要以上の被ばくを避けることが重要です。日常生活での自然放射線からの被ばくは避けられませんが、医療被ばくに関しては、医療従事者と相談し、必要性を十分に検討した上で検査や治療を受けることが推奨されます。

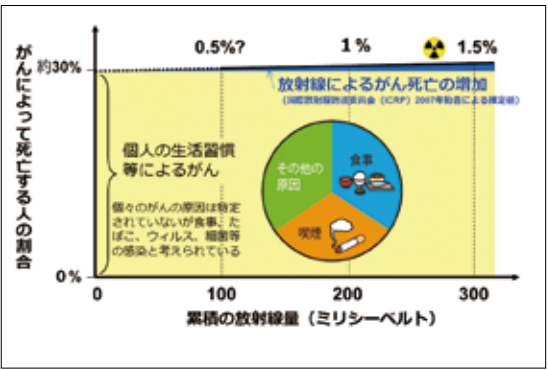
図7は、国立がん研究センターが発表した放射線の危険度を他の危険因子と比較した表です。喫煙や大量飲酒の習慣は、1,000～2,000ミリシーベルトの放射線被ばくと同程度の発がんリスクがあると推定されています。また、肥満、やせ、運動不足、高塩分食品の摂取などは、200～500ミリシーベルトの放射線被ばくと同程度の発がんリスクとされています。一方で、放射線による100ミリシーベルト以下の被ばくでは、発がんリスクを検出するのが極めて難しいとされています。そして、一般的なX線検査で100ミリシーベルトを超えることはありません。よって、がん発生の原因は私たちの生活習慣の影響が大きいため、規則正しい生活を送ることで、がんになるリスクを減らしていくことが肝要です。(図8)

図7：がんのリスク（放射線と生活習慣因子）

放射線の線量 (ミリシーベルト)	がんの 相対リスク [※]	生活習慣因子
1,000～2,000	1.8 1.6 1.6	喫煙者 大量飲酒（毎日3合以上）
500～1,000	1.4 1.4	大量飲酒（毎日2合以上） 肥満（BMI≥30）
200～500	1.22 1.29 1.19	やせ（BMI<19） 運動不足 高塩分食品
100～200	1.15～1.19 1.11～1.15	野菜不足 受動喫煙（非喫煙女性）
100未満	1.08 1.06 1.02～1.03	検出困難

出典：国立がん研究センターホームページ

図8：低線量率被ばくによるがん死亡リスク



引用：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成26・28年度版」

当院では、医師が放射線診療のリスクと便益を考慮し、その実施の是非を判断しながら正当化を担保し、患者さんへ適切な説明を行っています。そして、診療放射線技師が放射線防護の最適化を行い、安心安全な放射線診療の提供に努めています。もし、放射線診療に関する不安や疑問がございましたら、当院の放射線被ばく相談員にお気軽にお問い合わせください。

放射線に関する正しい知識を持ち、適切に対応することで、その恩恵を最大限に享受しつつ、リスクを最小限に抑えることが可能です。我々山形県立中央病院放射線部では、患者さんのために安全な放射線診療を提供しておりますので、安心して検査・治療を受けていただければと思います。このお話を通し、皆様の健康と安全のために、放射線についての理解を深めていただければ幸いです。



医療メディエーターって？

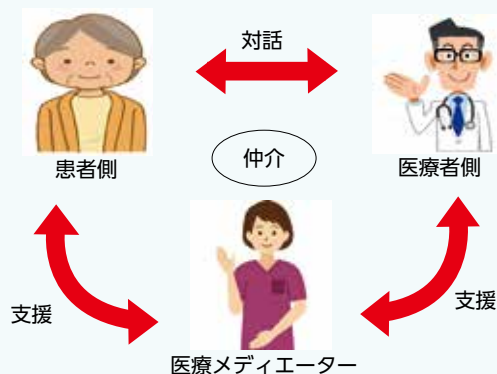
患者サポートセンター 医療連携・相談室
医療メディエーター 稲村 みどり

『医療メディエーター（医療対話推進者）』とは、聞きなれない言葉で何をする人？と皆さん思っていることでしょう。医療メディエーターの役割は、患者さん・ご家族から寄せられた相談や苦情、院内職員からの相談等に対し、患者家族側・医療者側双方の話を聴き、対話を通して橋渡しをすることで、関係性の再構築を支援することです。具体的には、相談や苦情のある方から話をお聞きし、具体的に困っていることや希望していること等を伺います。そして医療者と面談を希望された場合は、日程を調整し同席しています。その中で仲介役となり患者さんが安心して治療を受け療養生活が送れるよう、医療者との信頼関係を築くためのお手伝いをしています。

また、救急車で搬送され集中治療室に入院となった場合には、『急なことで頭が真っ白・どのような治療になるのか・元気に退院できるのか』等患者さん、ご家族の不安は計り知れません。このような時に患者さんやご家族に対して治療方針や内容の理解を支援するための窓口になります。

2階の患者サポートセンターで平日の日中勤務しております。次のようなことがあった場合には、どうぞお気軽にお声がけください。

- ・医師に聞きたいことがあるが聞きづらい
- ・医療者の説明が分かりづらい、納得できない
- ・医療者に対し不満がある など



「看護の日」のお知らせ

看護部 自治会会長 兼子 奈津子

地域の人々が、看護の心、ケアの心、助け合いの心を分かち合うことが地域社会の健康を支える鍵となります。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。

当院看護部では、今年の看護の日のテーマを「伸ばそう健康寿命—いつまでも生き生きと自分らしく—」としました。健康寿命を延ばし、県民の皆様がいきいきと自分らしく暮らせるよう、イベントを開催いたします。また、災害時に役立つ情報や対策を紹介する展示も行います。ぜひ、ご参加ください。

日時：令和7年5月13日（火） 10時～14時

場所：山形県立中央病院 2階講堂

【体験コーナー】 いつでも気軽にできる花笠体操
～ちょこっとリフレッシュしてみませんか～

【測定コーナー】 骨密度、肌年齢測定、誤嚥予防の体操など

【展示コーナー】 災害時の持ち出しグッズ
認定看護師、専門看護師の活動紹介
看護師の子供たちが描いた絵の展示



INFORMATION お知らせ

ロビーコンサートについて



コロナ禍で休止となっていたロビーコンサートを令和6年度から再開しました。

様々なジャンルのコンサートを行っておりますので、ご興味のある方は、是非ご来場ください。お待ちしております。

◇ご出演くださる方を募集しております。是非多数ご応募ください。

開催日：原則 毎月第3水曜日 17:15～18:00 ※出演者により日時は変更になる場合もあります

場 所：山形県立中央病院 1階ロビー

病院で準備できるもの：マイク3本（ワイヤレス2、有線1）、ワイヤレスアンプ、グランドピアノ1台

その他：①ボランティアで出演いただける方に限ります

②出演月について、ご希望にそえない場合があります

③演目について相談させていただく場合があります

【連絡先】 総務課庶務係 TEL 023-685-2626（内線3110）

入院の際の連帯保証人が不要になります！ －入院時連帯保証人代行制度の導入－

経営戦略課・医事相談課

これまで、当院に入院する際は、患者さんに連帯保証人を立てていただく必要がありましたが、連帯保証人を依頼する手間と精神的負担は大きく、また、病気のことや入院することなどを知られてしまうといったプライバシーの問題がありました。

こうしたことから、連帯保証人を保証会社が代行するサービスを導入しました。県が契約する保証会社と保証委託契約を結んでいただくことで、保証会社が、患者さんと病院との間の入院診療契約の連帯保証人となります。

なお、入院の際に患者さんに記載いただく入院証（入院申込書）の連帯保証人の欄に保証会社名が記載されていますので、追加で患者さんの手間や費用はかかりません。ぜひご活用ください！

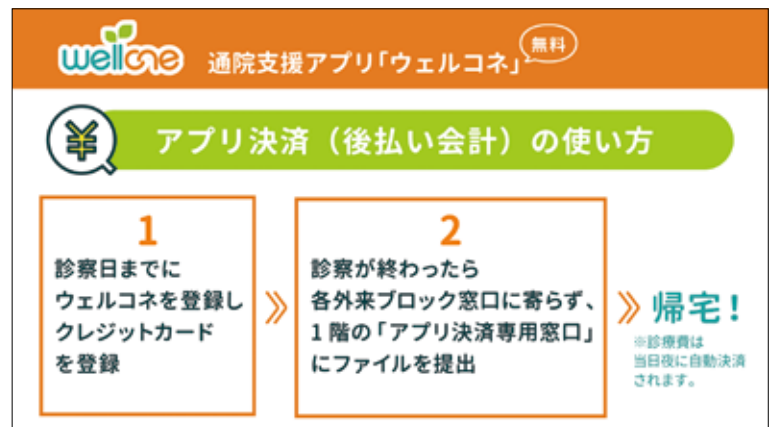


病院で お会計はもう、待たない －らくらくスムーズ会計サービスの導入－

経営戦略課・医事相談課

スマートフォンに専用アプリを登録することで、アプリ決済（後払い会計）ができるサービス（無料）が始まりました！事前にスマートフォンにアプリをインストールし、本人確認やクレジットカード情報登録、診察券の読み込みなどを行うことで、診察後、自動精算機に並ぶことなく帰宅できます！

6月末まで登録サポートブースを設置していますので、ご興味がありましたらブーススタッフまでお声がけください！



アプリの
インストール
はこちら



登録ガイド
はこちら

ウェルコネのご利用には
「本人確認」と「診察券登録」が必要です。

詳細はアプリサポートブースへ

場所：1階 自動精算機横 エスカレーター前

時間：平日 9:00～15:00

期間：2025年3月18日(火)～2025年6月30日(月) ※予定

ブ ロ ッ ク	診療科	診療曜日					ブ ロ ッ ク	診療科	診療曜日				
		月	火	水	木	金			月	火	水	木	金
A	内科	●	●	●	●	●	D	産婦人科 (産科)	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	呼吸器内科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ		産婦人科 (婦人科)	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ
	血液内科	△	△	△	●	△		頭頸部・ 耳鼻咽喉科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	糖尿病・ 内分泌内科	△	△	●	△	△	E	小児科 新生児内科	●	●	●	●	●
	循環器内科	●	●	●	●	●		小児外科	△	● 午後のみ	△	△	●
	消化器内科	●	●	●	●	●		皮膚科	●	●	●	●	●
B	整形外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	△		形成外科	●	△	●	△	●
	眼科	● 要紹介状	△	● 要紹介状	● 要紹介状 10時30分まで	● 要紹介状	F	外科	●	●	●	●	●
	歯科口腔外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ		呼吸器外科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ
C	脳神経外科	●	●	●	●	●		乳腺外科	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	△	FAX 予約のみ
	泌尿器科	FAX 予約のみ	△	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ		心臓血管外科	△	●	△	△	●
	心療内科	△	△	△	△	△		緩和医療科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	脳神経内科	●	△	△	●	●	放射 線科	放射線科	●	●	●	●	●

当院を受診する時は

◎初めて受診される方

- 総合受付（初来院受付）に診察申込書、問診票及び紹介状（紹介状をお持ちの方）を提出のうえ、受付してください。
- 総合窓口受付開始時間までは番号札をとってお待ちください。

◎再来の方

- 予約の有無に関わらず、再来受付機で受付してください。
- 再来受付機は、午前7時30分からご利用になれます。

◎保険証または保険証利用登録の済んだマイナンバーカードのご提示がないと全額自己負担になります。

マイナンバーカードをご利用の際は、顔認証付きカードリーダーへの登録操作が必要になります。

◎「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。

紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、紹介型外来または完全予約制（かかりつけ医からのFAX予約）による医療提供を実施しております。

● 初めの方・予約の方は受診できます。

△ 予約のある方のみ受診できます。

要紹介状

眼科、産科、頭頸部・耳鼻咽喉科、緩和医療科
FAX 予約のみ

呼吸器内科（火・金）、整形外科、歯科口腔外科、泌尿器科、婦人科、呼吸器外科、乳腺外科

※内科の火曜・金曜日は症状によっては受付をお断りする場合があります。

非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用「非紹介患者初診加算料」として7,700円（税込）を頂いております。また、当院から他医療機関（大病院を除く）への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、3,300円（税込）を頂いております。ただし、助産にかかる療養費等の場合は、非課税となります。

※緊急入院等の場合は除きます。

再来患者さんからの電話予約及び予約変更については、患者サポートセンターで受付けております。

「かかりつけの先生」からのFAX予約も受付けております。

TEL 023-685-2620（13時から16時）
※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

FAX 023-685-2606
（平日／8時30分から18時 土曜／8時30分から14時30分）